

みんなの健康ラジオ

『子どもの成長を見守るのに
成長曲線が役立ちます！Q&A編』

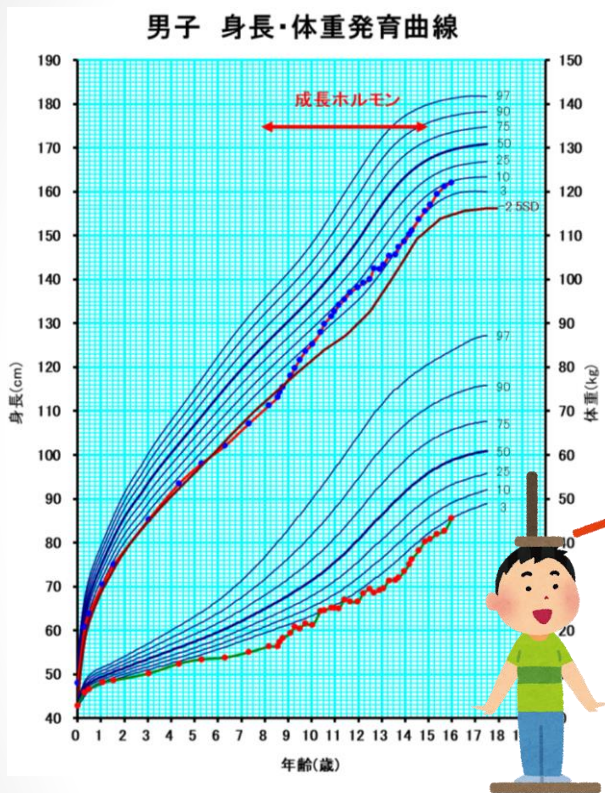
(2022年6月30日放送)

横浜市小児科医会

(医)一成会たちばな台クリニック

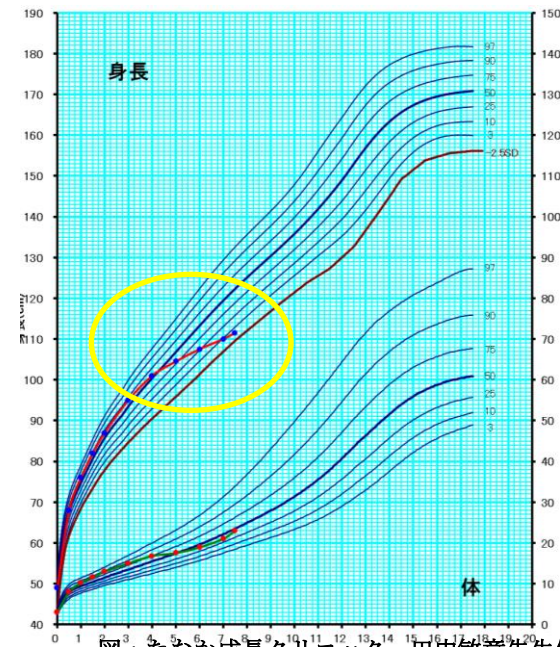
岸 健太郎

①背がとても低く心配だったが、周囲から「そのうち伸びるよ」と言われて受診せず様子を見ていた。大丈夫？

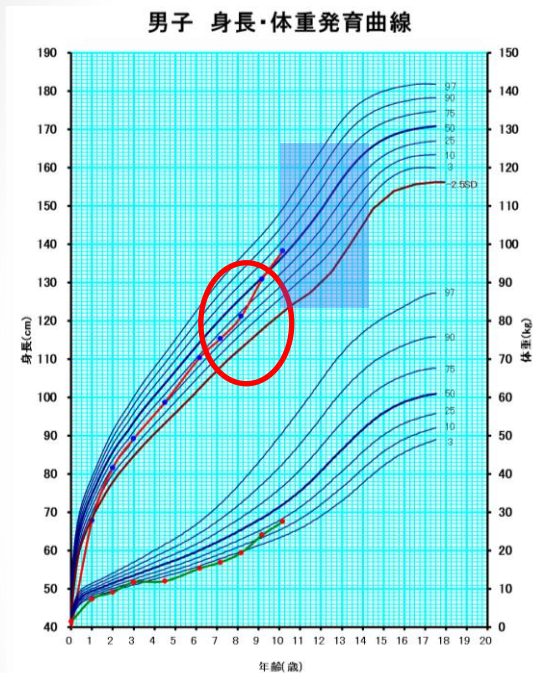


- 左の成長曲線の子は成長ホルモンが不足して伸びが悪くなっていましたが、治療により身長が改善しました。
- 成長できる期間には限りがあり、様子を見続けていたら治療の機会を見逃すことがあります。
- 低身長はホルモンの不足以外にも腎臓、消化管、心臓などの慢性疾患、心の問題など様々なことが原因になります。

- 特に右の成長曲線のように身長のパーセンタイルの曲線から外れて背の伸びが悪くなる場合 (○) は病気が潜んでいる可能性が高く検査を必要とします。



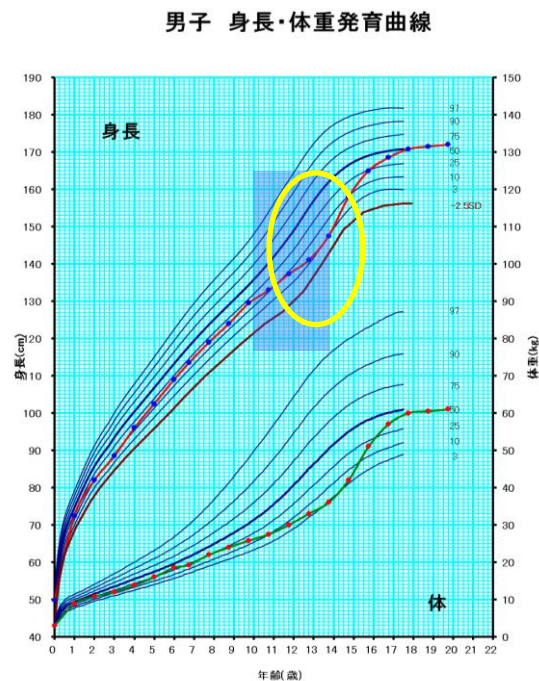
②周りに比べ急に背が高くなった。最近よく食べるようになったから背も良く伸びたのかな？



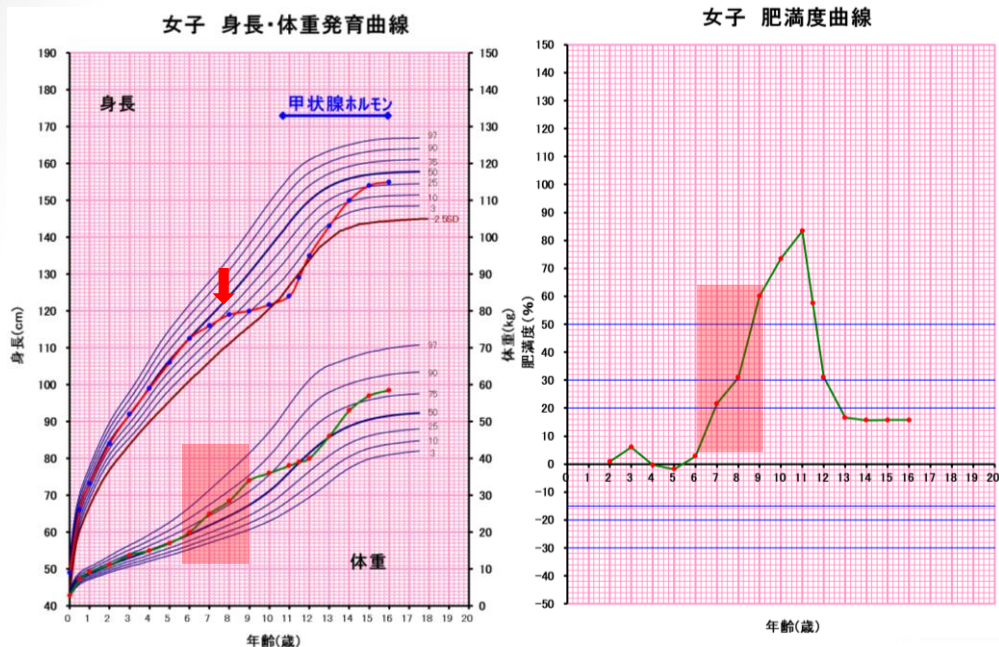
- 本来の年齢 (■) より早く思春期 (成長期) を迎えています (○)。検査で**思春期早発症**と診断されました。
- 脳などに原因となる病変がないかなど検査が必要です。
- 早く始まった思春期は早く終わってしまいます。背が十分伸びずに小柄のまま身長が止まる可能性があります。
- 女子では若い年齢で体形の変化や月経などが出現するため戸惑うことがあります。



- 反対に、**思春期が遅いことも注意**すべき点です。
- 右の図の様に本来の年齢 (■) より少し遅くても (○) 思春期が来れば良いのですが、思春期が来ない病気もあります。
- 男子13歳、女子12歳までに思春期が開始しない場合、もしくは中学校のうちに男子で声変りがない、女子で月経がない場合は受診を考慮してください。



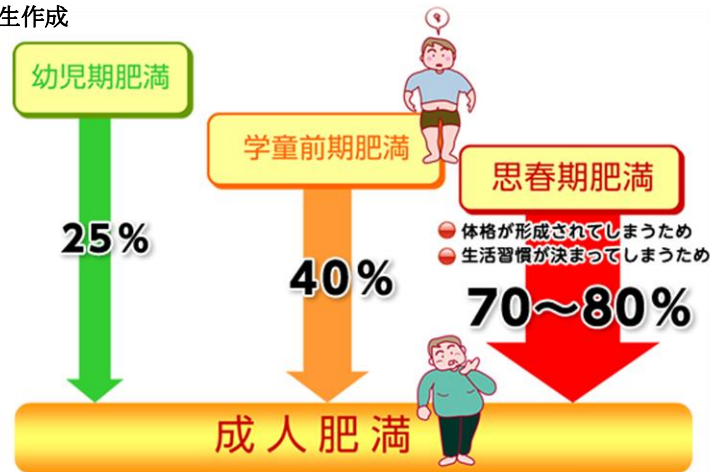
③最近太ってきたが、元気だから大丈夫？



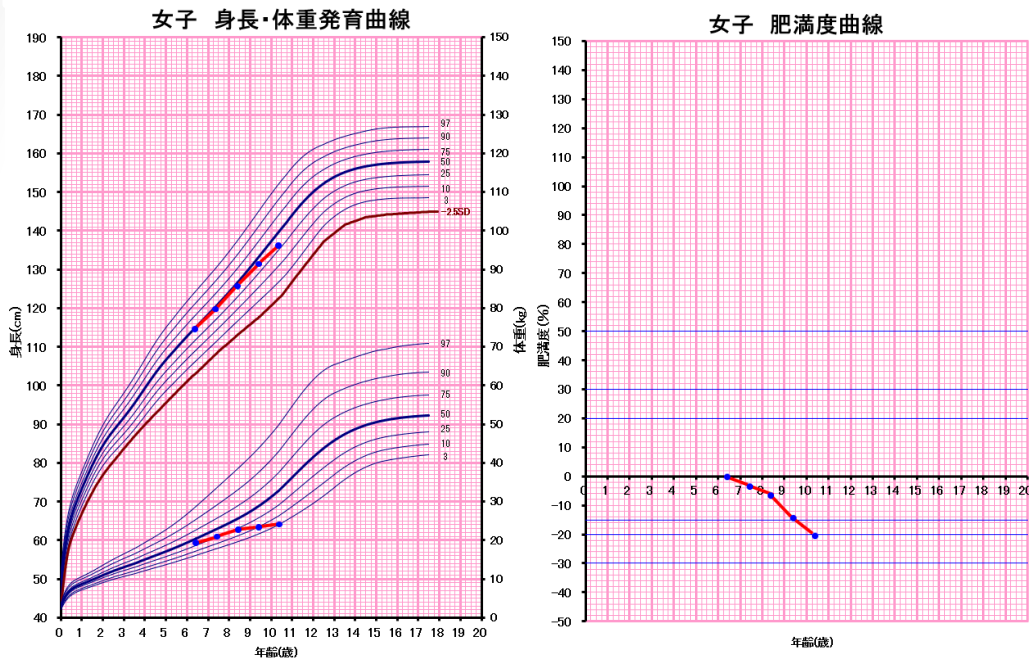
図：たなか成長クリニック 田中敏章先生作成

- この児は肥満度(右の図)が6歳ころより急に強く上昇しています(■)。
- 肥満の多くは体重に並行して身長伸びも強くなりますが、この児は逆に身長の伸びが悪くなっています(↓)。ホルモンの異常などを認める可能性が高く注意が必要です。実際、この児は甲状腺というホルモンが不足した病気で治療により改善しました。

- 一方で、学校健診で見つかる肥満の多くは病気が原因ではないのですが、肥満自体が糖尿病などの心筋梗塞や脳卒中といった血管の病気を引き起こす原因になります。
- 右図の様に子どもの肥満は大人の肥満の元になります。一度の診察、検査だけでは解決出来ません。早い時期に対応し、腹囲測定や成長曲線をもとに定期的な経過観察が必要となります。



④細くなっていて心配したが、体重が少しずつだけ増えているから大丈夫？



- 左の成長曲線で見ると身長に比べ体重の増え方が緩やかになっていますが、やせの程度は分かりません。
- それを右の肥満度曲線で見ると、肥満度が低下し続けていること、さらにどの程度低下しているのが分かります。
- 程度の強いやせや急に進むやせは原因となる疾患が潜んでいる可能性があり受診をお勧めします。

- **内科的な治療だけではなく心理的な治療などを必要とすることもあり早めに気づくことが大切になります。**
- **ダイエットやスポーツのしすぎによりやせになることがあります。極端なやせや進行するやせは思春期（成長期）の経過をはじめ、骨などにも影響することがあるので要注意です。**



成長曲線を描いてみましょう！

- 例①や例③ではきちんと検査して原因が分かり、治療をして改善することが示しました。
- 異常があるかどうかは、専門的な診察が必要な場合が多く、小児科専門医を受診することが勧められます。小児内分泌科医など原因となる専門分野を対応できる医師に紹介されることがあります。
- 成長曲線に異常があっても、すぐに病気が見つかり治療に至るという訳ではありません。しかし、**状況によって定期的に経過を確認することこそ必要な場合があります。**
- 最後に・・・
子どもの成長を陰ながら応援したいと思います。
気になることがあれば気軽に小児科医に相談してください。

